学校長だより　Ｎｏ．10（平成 30 年 3 月 5 日）

梅一輪　一輪ほどの　あたたかさ

３月に入り、ようやく温かくなってきました。睦月、如月と高知だけでなく日本列島が例年になく相次ぐ寒波に見舞われ、本当に寒い日が続きました。しかし、最近になって、やわらかな日差しに梅は咲き、桜のつぼみはふくらみ、自然の営みは変わることがないことを改めて知るのでした。そして、春を感じつつ梅や桜が話題になると、別れと新たな出会いの季節がやってきたことを実感します。そうです、いよいよ卒業式が迫ってまいりました。この３月若草本・分校から１８名の生徒が社会に羽ばたく日がまもなくやってきます。まだまだ一緒にいてほしい気持ちと、一人一人の門出に期待を込め応援したい気持ちが入り混じった複雑な心境です。先日、春野高校と高知病院看護学校の卒業式に出席してきました。少し涙を浮かべながら、胸を張り堂々とした態度と爽やかな表情がとても印象的でした。若草の生徒も同じ心境で学び舎を後にするのでしょう。卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。在校生の皆さん保護者の皆様、次年度もどうかよろしくお願いします。

学習指導要領が変わります！

新しく示された学習指導要領は、平成３２年度から小学部が全面実施となり、次いで中学部が平成３３年度、高等部は平成３４年度から年次進行で実施となります。しかし、小中学部については、平成３０年度から一部先行実施となり、来年度から新しい学習指導要領に基づいて教育が行われるといっても過言ではありません。従来の「道徳」が、「特別の教科である道徳」として位置づけられます。小学部では外国語活動や教科の指導が一層重視され、平成３２年度からは、５、６学年で外国語科がスタートします。特に、授業時数については、３学年から６学年まで年間３５時間の増加となります。この改訂により、小学部では下校時間が変更となりますので、スクールバスの運行や保護者の方のお迎えの時間に影響が出てきます。詳細については、学部からお知らせをさせていただきますので、よろしくお願いします。

最後の最後まで頑張った！

うれしい報告は最後の最後まで続きます。

〇全国特別支援学校作品展

学　校	学 部	氏　名	内　　容
高知若草本校	高等部	池添生純	優秀賞
		山本祥生	

全国の特別支援学校作品展の写真の部にエントリーをし、見事優秀賞を獲得しました。池添さんは修学旅行で撮影したスカイツリーを出品。山本君は知る人ぞ知る名カメラマンです。思うがままシャッターを切った中から選りすぐりの一枚をエントリーし、見事優秀賞と獲得しました。

〇はばたき賞

学　校	学 部	氏　名	内　　容
高知若草本校	高等部	徳弘希伊	はばたき賞

全国の肢体不自由特別支援学校で 16 名の生徒が表彰されることとなり、その中の一人として、本校の徳弘希伊さんが受賞しました。困難に打ち勝ち、自らの目標に向け懸命に努力し、大学進学を果たしただけでなく、生徒会役員として積極的に活動し、その姿勢は他の児童生徒の模範となったことが評価され、今回の受賞となりました。天晴！

たくさんのご意見ありがとうございました

本校分校では、年度末に当たり、今年度の取組に対して、教職員による自己評価を行うとともに、児童生徒、保護者のみなさんからの関係者評価、地域の方、関係機関の方による外部評価をいただきました。今回いただいたご意見を参考に、次年度の取組の一層の充実を図ってまいります。

今年度は三つの柱で取組をすすめました。Ⅰ「教育課程の改善」　Ⅱ「主体的・対話的・深い学びの推進」Ⅲ「文化・芸術・スポーツの振興」です。柱のⅠⅡは２９・３０年度の二年計画で実施することを年度当初にお伝えしており、進捗状況をご報告するとともに、ＡＢＣの３段階での評価をいただきました。

外部評価では、三つの取組に対しておおむね達成することができた「Ｂ」の評価をいただきましたが、教育課程の改善では土佐希望の家分校のアセスメントから「国語」「算数（数学）」の指導内容を導きだす取組に対して高評価を、文化・芸術・スポーツの振興では、普段の授業の成果を作品展、コンクール、スポーツ大会への参加につなげる取組とボッチャの振興に対する取組に対して「Ａ」評価をいただきました。そのほか、外部の皆様から、学校の取組に対して励みとなるご意見をたくさんいただきましたが、「普段から取組がわかるよう情報発信が必要では」という貴重なアドバイスもあり、開かれた学校となるよう今後も取組を進めなくてはならないと改めて認識をさせていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。